

野洲市民病院整備に関する市民懇談会

日 時：令和4年11月19日（土） 13時00分～15時25分

場 所：さざなみホール

参加者：59名

○資料説明

『野洲市民病院整備 基本構想・基本計画書（案）』（抄）に基づき、駒井次長より説明

○質疑応答要旨

【布施政策監】

少し時間の方をオーバーいたしまして、ただいまの時刻がですね、2時10分、12分でございます。

この後ここからですけれども、皆様からのご意見、ご質問等をいただきたいというふうに考えております。概ね、時間でございますけれども、1時間程度を予定をしておりますので、3時過ぎには終了させていただきたいというふうに考えてございます。

また、限られた時間でございます。ご参加いただいております多くの方からご意見を頂戴したいと思っておりますので、ただいまご説明申し上げました計画内容から大きく離れることのないようなご質問、ご意見をお願いをしたいというふうに思います。

また、一方ずつご質問いただきますけれども、まずはお一方1問ずつお願いをしたいというふうに考えてございますので、よろしくお願いを申し上げます。最後に時間ございましたら再度ご質問いただけるような時間を取りたいというふうに考えておりますけれども、多くの方のご意見を頂戴できるように、皆様からのご協力をよろしくお願いを申し上げます。ご発言の際には、お住まいの地域とお名前を頂戴をしたいと思っております。

それでは早速でございます。順番にマイクの方を回させていただきたいと思っておりますので、挙手をもちまして、ご発言をお願いをしたいと思っております。私の方からご指示させていただきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いを申し上げます。

はい、真ん中の緑の服の方、お願いいたします。

【市民C】

北野学区のCです。

昨日も参加をいたしまして、電磁波過敏症についての、私の友人のことを話させていただきました。20年前に夫の転勤で東京に行き、数年後に電磁波過敏症を発症してしまいました。東京は98%が地下埋設。地下8m～12mのところは50万ボルトとか、30cm～1.2mのところは2万ボルトとか、いろんなもの全部、98%、地下埋設です。彼女が言うには、道路で開削工事が行われてて、高圧線の工事と聞いてたと。あれが影響しているのではないかと。

症状としては、頭痛、吐き気、めまい、体ピリピリ、頭から何かピーって上がるような感じ。目から耳から膿が出る、目から血が出る。もうどんな検査をしてもうても、異常なし。眼科に行かれたら眼科の先生が、電磁波過敏症と違うかと。もうその環境から離れる以外にない。ということで、夫と別居し、長野県の長野駅前のマンションにお住まいになりました。症状が回復をしてきました。とにかく、もう電気、テレビも冷蔵庫もエアコンも、電化製品何にもないところで、電磁波から全く離れるということで生活を送られまして、症状が回復をしました。

しかし、新幹線が、北陸新幹線が開通して新幹線が走ることによって、また発症をしてしまったということでもあります。新幹線っていうのは2万5000ボルト。野洲の高圧線は7万7000ボルトですね。

この彼女、今もあの軽井沢に住んではいません。同じように電磁波、もう全く関係のない、電気の生活やめてという。そんな形で暮らしておられまして。夫さんは通い婚というような状況になっております。

数年前に私らと会ったとき、この軽井沢に行く前のとき、携帯電話のプルプル〜と鳴った途端に、もう本当にぴゅーっと一目散に離れられました。携帯電話の電磁波が影響してたんです。2年前に軽井沢でずっと暮らした彼女と会いましたら、スマホを持っておられました。スマホが持てるようになったんや、そんだけ回復したんやな、というふうに思いました。が、本当に電磁波の影響というのは、すごいものがあると思います。

この電磁波、がんの発症率が高くなるというふうに言われています。スウェーデンのカロリンスカ研究所で1992年に送電線から300m以内に住んでいる53万人の住民を対象に疫学調査をして発表されました。電線のないところの子どもと比べて小児白血病の発症率が3.8倍も高い、3ミリガウス以上の電磁波による被ばく。2ミリガウスだと2.7倍というのも判明しました。

また、1994年フランスの国営電力とカナダの2つの電力会社に勤務する22万人の疫学調査では、急性骨髄性白血病が3.2倍。急性リンパ性白血病が2.4倍。そういうような状況であります。

【布施政策監】

端的にご質問いただけたらと思います。ご意見でありましたら。よろしく願い申し上げます。

【市民C】

それでお尋ねをいたします。

こういった色々なことがある中で、野洲の、(資料の)40ページのところに説明がありますよね、54、これミリガウスです。この54ミリガウス(=5.4マイクロテスラ)のところというのは、これは一体、送電線からどんだけの距離のところの数値なのか、距離を教えてください。距離は書いてませんでしょ。20mも離れてませんやん。送電線のすぐ近くにありますが、一番近くのところ。

なぜこれ聞くかというと、この前の懇談会で出されていた病院、12.9m、送電線と建物を離して、嵩上げて離れたということですね。関西電力やったし、あの病院のところの鉄塔の高さを聞きました。一番下が30mです。で、30mからずっと下がってきますよね、送電線って、ピンピンに張つま

せんから。病院の高さが20mでしょ。もうすぐ目の前に、私は送電線があると思うんですよ。何m離れてるのか、ちょっと教えていただきたいと思います。

【布施政策監】

ご質問を今お一ついただきましたけれども、その他、その他ございましたらお願いします。

【市民C】

この送電線の距離をね、教えて欲しい。というのと、昨日、12月13日に市民公開講座ですか、開くというチラシをいただきました。電磁界情報センターの所長さんが来られるということであります。

この所長さんですか、私直接は話しておりませんが、電磁界情報センターから、私、電波の測定器を借りまして測定しました。測定して、測定数値を書いて送り返しましたら、向こうから機器が変換されましたということで電話がありましたね。言われたのが、その所長さんではありませんよ、ではありませんけど、人体に影響がなくてよかったですね、って仰ったんですよ。で、人体に影響がないというその基準がね、私は国の基準の2,000ミリガウス(=200マイクロテスラ)、これを基準にされてると思うんです。私が送ったのは、体育館の2階の1.7~2.2ミリガウス(0.17~0.22マイクロテスラ)、ロータリー、皆さんが下りてくるところ、そこで0.8~1.0ミリガウス(0.08~0.1マイクロテスラ)というデータを送ったら、人体の影響がない。けどね、電磁波過敏症の人は0.3ミリガウス(0.03マイクロテスラ)でも影響が出てくるといふところ辺ではね、私、この所長さんに来ていただいたんでは、影響ないということしか言われないうと思うんです。

ぜひね、電磁波に影響があるというような方、電磁波問題市民研究会の大久保貞利さんとか、また医学博士の中原英臣さんとか。こういった電磁波に関係があって、いっぱい見識を持っておられる方、この方も呼んでいただきたいと思います。

このことについてお尋ねいたします。

【布施政策監】

ありがとうございます。2点のご質問であったかと思ひます。送電線の距離と、講師の先生のお話であったかと思ひますので、ご回答をさせていただきます。

【駒井次長】

はい、ありがとうございます。いろいろお伺いいただきまして。今2点、中心に申し上げたいと思ひます。

まず、送電線、5.4マイクロテスラ、54ミリガウスの算定をしているその距離でございますけれども。まず水平距離、20mのところの5.4マイクロテスラなので、水平距離だけでいいかなというふう

に思うんですけれども。図面で見ますと、約10m程度かなというふうに思います。実測は不可能ですので、図面上10m程度離れているだろうというふうに思われます。

それとあと電磁界情報センター、今度12月13日15時から文化小劇場で、「電界・磁界を正しく知る市民講座」というのを開設させていただきたいと思います。本日お配りしたチラシに入っていると思います。そちらの方に講師を招聘してございますが、中立的な機関として、国の方が出資して造った研究機関でございますけれども、電磁界情報センターというのがございます。その所長が、大久保先生という所長なんですけども、お越しになられます。

市としては、そういった公的な機関から、研究の状況をご報告いただきたいという意図で、そういったところの先生をお願いしているところでございます。Cさん仰る、（電磁波の影響が）あるというふうに言われる先生を呼んで講演を開くという、そういった方がより恣意的ではないかな、作為的ではないかなというふうにも思います。市としてはそういったことは出来ないということで、ご了解いただきたいと思います。

あと0.3ミリガウス、テスラに直しますと0.03マイクロテスラという、極めて微弱な磁界のレベルになるんですけども。まず前川先生がお帰りになられる前に私に忠言いただいたこととして、現実には、Cさん仰るように、電磁波過敏症という方が国内あるいは世界におられる、これは事実だよというふうに先生仰ってました。そして、大変お気の毒な症状で、重症化すると本当に日常生活が営めない、大変お気の毒な症状になるということでございます。スウェーデンの話もされましたけども、スウェーデンではですね、タベ（の市民懇談会でCさんが）スウェーデンの話もされたんですけども。スウェーデンではそういった症状に着目して、症状に着目して生活支援が必要だということで、国家スウェーデンではなくて地方のガバナンスでございまして、（地方のガバナンス）が補助金を出しておられる。障がい者手当のようなものでございますね。そういった対策をとってられる国もあるということを知り及んでございます。

ですから、大変その症状が重症化した方に関してはお気の毒な状況であるということからも、十分認識するところでございますが、発症率につきましては100万人に数人というふうに言われてございます。ですから、滋賀県に10人おられるかいないか程度だと思うのと。あと0.03マイクロテスラ（＝0.3ミリガウス）でそういった重い症状が出る、あるいは症状が出るということは、病院、今度建てる病院が高圧線の近くにあるとかないとか、そういうレベルではないんです。普通の病院でも、テレビあります、コンピュータあります、機械を置いています。そういった文明の建物の中に入った段階で、もう症状が出ちゃうんですね、0.03マイクロテスラだと。ですから、高圧線が近くに通ってるとか通ってないとかいうレベルじゃなくて、今、昨夜も仰っておられましたけども、Aさんのそのご友人の方は、テレビもない、全部ないんですね、掃除機も冷蔵庫も。だから文明の中に囲まれると症状が出ちゃうので。申し訳ないですけども、体育館横病院に高圧線があるとかないとかいう、そういう状況で議論ができない状況の方ということで、ご了解をいただきたいと思います。

もう一つ、前川先生、昨日も仰ってたんですけども、今仰った目・耳から出血するという事になると、これは他の疾患が疑われるね、ということを知り及んでおられました。

以上でございます。

【布施政策監】

はい、続きまして…

【市民A】

あの、すいません。点滴装置やらもすごく影響するんですけど、自動点滴装置。

【布施政策監】

すいません。お一方ずつ、ご質問一つという形でお願いしておりますので、次の方お願いを申し上げます。

どうぞご質問ある方は挙手をお願いいたします。

どうぞ前の方ははい。

【市民H】

大篠原のHと申します。

（チラシを手に持ちながら、）ご自宅の方に、皆様のご自宅の方にも（このチラシが）回ってると思うんですけども、令和4年10月1日守山野洲医師会小西常起会長「何故、野洲市は、病院が所有する駅前の土地を捨ててまで、通院・通勤に不便で、立地条件の悪いプール跡地に市立野洲病院の建築を推し進めるんですか」。

栢木さん、ちょっと質問です。前回、篠原学区（の市民懇談会）でも、医療という専門の仕事を何十年とやってきておられる、こういう団体から支持を得られない。市長以下、市議会議員は、せいぜい2期か3期か知らんけども、その程度しか仕事ができないんです。医療機関は、私も30年仕事してきました、多分この中では医療関係については詳しいと思っております、皆さんに負けぐらい。こういう団体から賛成を得られない。何故なんですか。前回もきちっと医師会とは連携をして進めるべきだと。ここは市長のリーダーシップが必要だと思うんです。

何故、医師会の賛同が得られないのか。例を言うならば、農業施設を造るのに農業団体とか農民が反対して、無理やり、市役所が建物を建てるようなもんです。近くでは、大津市民病院では、大学の反対で医師を10人ほどを引き上げました。医師会というのは、或いは大学というのは、こんだけ力強いんです。そういうふうなことが、私は業界に出て肌身で感じてます。それから野洲市でも、病院でも、前、医大のお医者さんですか、5人ぐらいが一気に辞めたときもあります。それぐらい、医師会の力が強いんです、或いは大学の力が強いんです。建物を建てただけでOKというわけにいかないです。

私もお医者さんとかナースを集めるのもう一苦労しました。そんなことは多分、前に座ってる人は経験ないでしょう。それを理解が得られてないのはどういうことなのかと、未だにこういうチラシが入ってくるという。あなた(=市長)のリーダーシップ不足というふうに言わざるを得ない。

私はどっちでもいいんです。野洲で造ろうがここで造ろうが、どっちでもいいんです。どちらでもいいんやけども、何故、理解を得られないのか。あなたのリーダーシップを問います。応えてください。

【市長】

ご意見いただきましたが、なぜ医師会が反対しているのかというのは、本当にわかりません。ただ、守山野洲医師会で(チラシを)出されておられるんですけども。(チラシを)出すというか、会長が言っておられるんですけども。開業医の先生方、お一方お一方お聞きいたしますと、概ね、野洲で開業しておられる先生方については、概ねですけども、早期に、場所はもういい、早期に整備してくれという声が、やはり多いです。

だからね、守山野洲医師会の先生方がそういうチラシを出されてること自体は、本当に私どもも職員もそうなんですけども、丁寧に何度も説明へは行ってます。しかし、受け入れていただけないというのは何故かということは、私には理解できないです。Hさんの方が医師会の先生方に1回聞いていただけたらありがたいな、というふうに思います。

【市民H】

聞いてますよ。

【市長】

言ってください。そうして協力していただいて、一日でも早く整備をしていきたいということを思っております。

私は、もちろん医療関係者でも何でもないわけですから、Hさんのようなそういう経験もないです。だから、管理者、病院事業管理者に医師に就いていただいて、そういうものの調整も図っているという状態でございますので。病院を1日も早く整備をしていくということがまず第1だということを私は思っておりますので。ご理解いただきますように、よろしく願いいたします。

【市民H】

整備に反対してきたのはあなたたちでしょう。

【市長】

整備に反対してきたのは…。場所については、私は反対はしてきましたよ。でもね、それを受けて、最初に説明させていただいた中でそういうことも全部言わしていただいておりますので。だから私は今市長として、ここに座らせていただいているということでございます。

よろしく申し上げます。

【布施政策監】

はい、続きまして、挙手をお願いいたします。

前列の前の方、そちらの帽子の方、お願いいたします。

【市民Ⅰ】

もうマイクはいらない。いらない、僕は。

私、恐縮ですけどね、歳はもう86歳。生まれはここではないんです、近江八幡ですけどね。ちょっと簡単に話さしてもらいます。

病院に関する問題ですね、これ、何年掛かってるんですか。日本でもこれ珍しいですよ、市町村で。これは、市長が、栢木さんが新しい市長になって、僕、栢木さんの進めておる、進めてることは、僕は賛成します。賛成しますけどね。山仲市長さんがね、最初にもう少しわかりやすく市民に説明したら、これだけ掛かってないんですよ、本当に。僕はつくづくそう思いますよ。

近江八幡、守山市。僕、何回も言いますけどね、この野洲市、野洲市は全て遅れてますよ。本当に。これをね、先頭に立っているのが市長、これ市民の代表ですよ。何も偉いもんでも何でもありませんよ、市民の代表ですから。頭に、肝に銘じてですね。

この栢木さんという人は、これ積極性のある人ですから。この積極性のある人ですから、兎角、頑張ってもらいたいんですよ、僕は。もう、我々のこの歳になったら、もう先がもう見えてるんですから。ね。私よりか5年、10年の先輩もまだまだ人生でおられますよ。おられますけど、ほとんど、もう誰かのお世話になってるわけですよ、ね。

兎角、栢木さん、積極的に進めてくださいよ。日本は社会主義ではないんですよ、自由主義ですから、賛成多数で決めるんですけど。行政の長はあなたですから。あなたがね、あなたは積極性のある人ですから。とにかく頑張ってください。ただそれだけです。

以上。

【布施政策監】

ありがとうございます。ご意見という形でご回答よろしゅうございますかね。

はい、その他挙手いただいた方、後ろの方、申し上げます。

【市長】

ありがとうございました。力強いお言葉を頂戴して、お名前お聞きしてないんですけど。

【市民 I】

僕は I です。

【市長】

I さんです。

【市民 J】

駅前の J です。

いろいろ反対される方は、必ずこういう場所には来られます。

前市長の山仲さんが10年間かかって出来なかった病院の整備。これを栢木市長に代わりましてですね、いろいろと紆余曲折ありましたけれども、なんとかここまで、こういう基本設計まで来られるようになったということは、非常に嬉しいことだと思います。

それで、もう後ずさりはできません。とにかく猪突猛進。頑張って、今仰ったように邁進していただきたいと。1日も早く病院建設されますように期待しておりますので、よろしくお願いします。

【布施政策監】

はい、ご意見として承ります。

その他よろしいでしょうか？はい。

前の方すいません。

【市民 K】

私、そこのすぐ近くの永原、三共開発に住んでおります K と申します。

今までいろいろな方、あるいは前回の病院に対しての説明とか、そういうことも聞いた上で今申し上げたいと思うんですけど。

まずは、確かにあそこの体育館がですね、野洲市のほとんど中央であるということは確かでございます。それと野洲駅を中心として、中主も含めて6km~7km前後かかると思うんですけど、時間にしても、6分、7分、8分ぐらいあつたら、野洲病院に来れると思います。

だから、立地的にはね非常に、私が住んでるから言うんではないんですけども、素晴らしいと思います。それでですね、栢木市長が進めていただいたことに対しては大賛成です。

それをね、ですから今おっしゃってた通り、多少市議とか、それからなんですか、医師会とか、相当な批判もお受けになるかもしれませんけど。そこら辺は強くですね、野洲市の為なんだということで押していただいて。建てるのは我々なんだと、そういうことでお願いしたいと。

それとですね、もう一つ気になるのは、野洲病院できた暁の従業員並びに医師関係のことですけども、これも非常に大切なことなんで、今後とも並行してですね、進めて。一番大切なことだと

思うんで、それが完成できたら、もうこんなにいい野洲市はないかというふうに思っております。

また駅前。さんざん何か言われてきましたけど。もし余裕があれば、野洲のAブロックあたりでも、若者が集まれるような場所を造っていただければいいかと思います。ですから、決して病院がいいということは当初より思っておりませんでした。

今後ともよろしく申し上げます。

【布施政策監】

はい、ご意見という形で承りたいと思います。ありがとうございます。

その他ありましたら挙手をお願いをいたします。前の方女性の方。

【市民L】

はい、あの南櫻のLと申します。

先ほどから大変上手に執行部の方が説明していただきましたけども、21ページに病院の理念として、大変素晴らしいことを書いてありました。私達もなるほどと思います。でも、その素晴らしいことは、書いてあることは、やっぱり市長さんもそれをちゃんと入って考えていただいておりますけども。

ただし地盤の件ですね。私達は、先ほども医師会の出してはった新聞がありましたけど、私達も新聞出しております。その中には挙げておられる温水プールの跡地ですね、跡地は地盤が緩いということとか、それから高圧線、それから川があるということで、それでいろんな難点を私達は危惧してるんです。その点を、今、（地盤についての）説明の中では陶器先生とおっしゃったかな、何先生かちょっと忘れちゃったけども、説明してちゃんと大丈夫だということを聞いているということと言われたんですけども、本当に私達市民のことを考えてだったら、あの高圧線の件とか地盤の件とか真剣に考えていただきたいと思います。

それと予算案の件なんですけど、予算が76億8,000万円を言われたんかな。あの、その危険もそれで収まるのかどうか、大変な石階段のところでもありましたし、それから（令和）7年にはスポーツ大会もありますし。そういう面なんかでも色々なことを考えていかなあかんときに、ちゃんとあの予算がそれで収まるのかどうかですね、その2点お願いしたいです。

本当に栢木市長は半額、現地半額建て替えということを大きな看板で、皆さんが投票入れられた方ですので。私達はそれに対して一生懸命頑張っておられる姿は見ておりますので、応援したかった気持ちがあったんですけど、段々なんかいろんなことで二転三転と変わられたんですけどもね。それでちょっと御質問させていただきますのでよろしく申し上げます。

【市長】

まず、半額程度ということおっしゃいましたので、その部分だけのご説明させていただきます。

当初、選挙出させていただいたときに、現地建て替え半額程度でということで、対案として出させていただきました。その当時の半額っていうのは、あくまでも東館を解体して、西館と北館は活かしたまま、活かすというリニューアルをして整備をするということです。全館新築するわけではないので、約半額程度で整備できるということを申し上げておりました。

が、Lさんもご承知の通り、評価委員会等々で医師の先生方から反対をされまして。それにいつまでも執着してるよりも1日も早く整備をするべきだという判断をした上で、現在、一転二転いたしました。今の温水プール跡地で整備をするということを提案させていただいてます。これはあくまでも、全館新築でございますので、半額程度ではもう無理ということは明らかでございますよね。その点をご理解いただきますようお願いいたします。

【駒井次長】

その他のことになりますが、まず地盤と高圧線のことですね。地盤のことにつきましても、お手元に配布させていただいている資料の中で、ご説明ができていうふうに、基本、思ってるんですけども。ご納得いただけないということなのですね。

建物を建てるという場合には、大きな建物の場合、民間の住宅は別ですけども、大きな建物の場合には支持層といわれるね、地面の奥底にある支持層という固い地盤に杭を打つんですね、パイルを。昔はカーン、カーンゆうて打ってたと思うんですけども、ああいう杭打ちをされるわけですね、学校でもみんなそうですけれども。で、その上に柱を乗せて、梁を造っていくというような形になってます、鉄骨の場合はそういう形で造っていくんですけども。その支持層が、地面の、見た目の地面のところからわずか10m程度のところにあるということを申し上げてるんです。

それは何で判んねんっていう話なんですけれども。これも先ほどの説明の中で申し上げて、2回目って恐縮なんですけども。野洲市は（昭和）62年に温水プールと体育館を建ててます、旧野洲町ですけども。平成18年になかよし交流館を建ててます。そのときに、あわせて7つのポイントをボーリング調査をして、その下の地盤がどうなっているかということで確認をさせてもらってます。今申し上げたように、その7つのポイントを掘った結果、7つの掘った結果が、全部似たような結果になっとるんです。としましたら、おそらくというよりもほぼ確実に、今度建てようとしている、病院の建物を建てようとしている建築面積、いわゆる建坪のところも、10m掘ったら砂礫層という固い地盤に突き当たるということ、この確実性は極めて高いということなんです。

これ、そんなんわからへんと、確実って言うけどもそんなんわからへんと仰るんでしたら、全掘しなくてはなりません、文化財みたいに。7,250㎡を10mにわたって全部掘り返して、ここに地盤がありますということを確認してからでないで建てられないという、とんでもない論理になりますよね。そういったことはできないので、ボーリング調査を適切に行って建てていくという考え方をしております。

【市民M】

素人の方が聞いているのに、そんなこと言うたってしゃあない。Bブロックで建てるときは基礎はこんな今の支持杭までいらんで安くいけんのやで、その代わり、ここはこういう形でこんだけ増えるんですよ、とか。いやいや、Bブロックでも同じように支持杭がいんのや、こっちも同じなんですよ、心配してくれてはっけど必要ですやん。こういう説明をしないと判らへんがな。

【駒井次長】

ありがとうございます。ご指導いただきましてありがとうございます。

今、Mさんですね、おっしゃるように、そういう言い方で説明をさせていただきますと。駅前のAブロックはもう建物を建てる直前まで行ってましたね。行ってましたので、実はどういう形でどこに何本杭打っていかうかという設計の図面まで出来上がってたんです。駅前のAブロック、駅前でも同じです。約13mの深さのところの支持層がおるんですわ。それまでに、ちょっと今うろ覚えですけど、70数本の杭を打ち込んで、その上に建てましょうという設計になってましたんです。

今度建てようとしている病院の、東側市有地という新しい病院の場所も同じことです。10mぐらいのところの砂礫層という硬い層がありますんで、（駅前のAブロックのときと）同じようにしたら建てられます。ですから、あそこやさかいに地盤が緩い、あそこやさかいにそのために特別な対策費用が多くいるということにはならないということをご理解いただきたいと思います。

以上でございます。

【布施政策監】

すいません、再質問につきましては、また一巡させていただいてからということをお願いしたいと思います。

その他、挙手いただいている前の方、お願いいたします。

【市民N】

和田のNです。

ここ、今の支持層の件ですけども、これ今一応ね、（資料の）括弧6番に入ってますよね、書かれてるんですけども。一応、10mぐらいに強固な砂礫層があるというふうに書かれてます。その下にね、「上記の10m、15m付近が支持層とならない場合」ってありますよね。「ならない場合」、20mにまだもう一つありますよ、ということで書かれてるんですけども。これはどっちに打ち込もうとされてるんですか。今の話でいくと、浅い方ですけども。これ2つ書くということは、僕ちょっと子どもがこういう仕事してるんで、上の方にしようと思ってるのか、下の方が確実やと思ってるのか、どっちに支持層を打ち込もうとされてるのか、教えてください。

【駒井次長】

今のところまだ設計に入ってませんので、どういう基礎にするかというところはこれからでございます。ただ、今ご指摘いただいた、これがあかんかった場合、もう一つ下にもあるよということで、入念的にそういうデータを示してるというふうにご理解いただきたいと思います。基本は、10mの浅いところに。厚さ約5m、かなりの幅と思うんですけども、厚さ約5mで砂礫層が堆積しているということがわかってますので。設計の段階で当然決めていくことですが、そう思うでございます。

【市民N】

上の方が柔らかくって、こっちの方が硬くいんですよっていう意味の書き方ではないということですね。

【駒井次長】

はい、そうでございます。同じ地層、砂礫層でございます。以上でございます。

【布施政策監】

はい、その他、挙手いただいた後ろの方、お願いします。

【市民O】

三上学区から来ましたOと申します。

昨晚もシライシアターの方で、賛成派・反対派、皆さんのご意見聞かせていただいて。栢木さんが市長になられてから今日まで、この2年間の混乱というのは何だっただろうなということで、考えて、帰って考えてみたんですけども。

やはり一番の問題点は、どなたかおっしゃってましたけども、栢木さんが市長選に出られたときに、もう固く約束されてたんですね、現地半額というところは。これ、私を市長に上げていただいたら必ず実行します。これは私、生の声で聞いてたんです。市長に当選、それを受けて市民の方は投票されたというふうに、未だに思ってるんですけども。年が明けて、いろんな、市議会や市民からブーイングが出たら、自ら諮問機関である評価委員会を立ち上げられて検討してもらったと。検討の結果においては、最初に文言がついてるんですね。「技術的には可能だが」っていうのが前提になって、「いろんな問題がありますよ」ということが列記されたと思うんです。

ここでね、栢木さんの心意気が、あんだけ選挙戦のときに強い意志で確実なものであったならですね、そこはやっぱり突破して、現地半額で強行されておったらですね、今頃、野洲病院は工事中かなと、私は昨日、夕べ、考えたんですね。これちょっと余談で申し訳ないんですけども。もうこれは取り返しのつかないことなんで、この話はこの辺にしておいて。

最近の評価委員会が開かれた結果、その前提条件として、評価の前提条件として、建設地をどうするかという議論ではないという話を、ちょっと聞いたんですけども。これはやっぱり、建設場所

と、病院の今日おっしゃいました構想とか計画というものは、セット、1セットなんですよ。建設地を切り離してこの病院をお認めくださいという話は、簡単には受けられない方が結構おられるのではないかと。この点も確認したいんです。

それとあとですね、地盤調査の件も、先ほどLさんが仰ってましたけども。やはり、実際にボーリング調査をされたらどうなんですかね。ここで大丈夫です、大丈夫ですということじゃなくて、こういう結果でしたとエビデンスをはっきり数値で示していただいて、出していただくと。

それから電磁波の問題も強く意見が出てましたが、どなたも意見言われなかったんですけど、私、昨日考えて、これ高圧線のルートを変えるという検討は、なされたのかなされてないのか。私の住んでます妙光寺地先で国8バイパスの建設やってますけども、ちょうどそのバイパス上にかかるということで、鉄塔一基、移転されましたけども。そのとき聞いた話では、大体1基動かすのに1億円ぐらいはかかるんじゃないかというような話を聞いたことがあります。これ、今の体育館の病院建設で計画されるときに、そういう議論っていうのはあったのかなかったのか、ということをお教えいただきたいと思います。

それと、いつの議会だったか忘れましたが、現行の野洲病院の耐震調査を再度やりますよということで、予算を取られたと思うんですけども。これは実施されたのか、いつ実施されるのか。この辺もちょっとご回答いただきたいなと思います。

それと、隣にあります中ノ池川の洪水の話も言われてますが。最近の大型台風で、全国各地で線状降水帯というものが発生して、1日あたりで400mmも500mmも雨が降ってるというところがあって、かなり被害が出てるということで。もしも、体育館横の中ノ池川付近でそういう線状降水帯が通過したとか長いこと停滞したというときには、浸水のおそれがあるんじゃないかと。地盤は大丈夫かなという気もしますけども、浸水の恐れは、必ずリスクは取り払ってないと、こういうことを、実際、その、評価委員会というのは。

評価するのは、英語ではリスクアセスメントというんですけども。リスクをやっぴり取り除く努力をしていただいて、より安全な病院ができるんですよということで、市民に説明いただいたら、我々も、理解じゃなくて、最終的に納得になるかもわかりませんね。

回答の程よろしく願いいたします。

【駒井次長】

はい、ありがとうございました。いくつかいただきました中で、ご説明をさせていただきたいと思います。

まず軽微なところから申し上げたいと思います。ボーリング調査をやったらどうかということをお仰っておられますけれども、ボーリング調査します。次の11月補正予算でボーリング調査予算を掲げてございますので、そこで。今1ヶ所1ポイント入ってますけれども、それ以外のポイント数箇所を開けていきたいと考えております。それで、今現状のデータが出てくると。ただ、土の中10数mの

ところの状況ですので、10年前に掘ったとき20年前に掘ったときと、そんなに変わってないというふうに思っております。地面の中、地層でございますので。（調査は）させていただきます。

それ（＝調査）を事前に何故しなかったのかというようなご質問の意図であればですね、申し上げたいのが、そんな形で整備地を決めるような公共施設は、恐らくほとんどないと思います。今、既存のデータで確度が十分確認できるわけでございますから、それで整備予定地を見定めて、基本設計、所謂どういう基礎にしていったらいいのかということの設計を行うために、今度、地盤調査をするわけでございます。当然、結果については公表させていただきますので、それをご覧いただいたらいいかなというふうに思っております。

あと高圧線のルート変更について検討したことがあったのかなかったのかということでございます。ございません。

何故かと申し上げますと、いろんな形で、先ほど資料でご覧いただいたような形で計算あるいは調査をいたしました結果でございますけれども、今回の建設計画では理論上の最高値が5.4マイクロテスラとあること、そして実測値で0.6マイクロテスラであるということから判断して、この場所で電磁波による長期の健康障害をきたす可能性は、現の世界基準（＝200マイクロテスラ）に照らすと考えるににくいという考え方に、市として至っているということでございます。ですから、わざわざ除ける必要もないと。

加えまして、建物の建設の支障がかかってくる部分というのは、敷地の一部確かにございますけれども、大半の部分はリスクフリーでございます。何回建ての建物でも建てようと思ったら建てられるエリアが7,250㎡の大半でございますので、わざわざ多くのお金かけて（送電）線を動かしていくなんてことは検討いたしていない。検討というか、内々の議論には上がりましたけれども、それをやっていこうというような考え方には、全く至ってないということでございます。

あと中ノ池川のことでございますけれども、中ノ池川の浸水リスクということをお仰っておられますが、野洲市が発行しております『防災マップ』の中に、「洪水ハザードマップ」というのがございます。駅前のA・Bブロックは、今、50cmの浸水リスクがあるということになってますが、おそらく祇王井川の改修で、おそらく野洲市の中心市街地でございますので、0mにしていく必要があるというふうに考えてますが。今の病院予定地である東側市有地につきましては、ハザードマップ上でご覧いただいたら、浸水リスクゼロでございます。中ノ池川の水は、こちら（病院予定地側）には流れてきません。大丈夫な場所でございますので、ご安心をいただきたいなというふうに思っております。

もう一つですね、先般7月、線状降水帯が何かわかりませんが、野洲市も大雨がございました。まだ現在、駅前の浸水対策が十分できていないという経過の中ではございますけれども、残念ながら、駅前の方が、水がついちゃったというような状況でございます。その際、東川市有地は水はつかなかったという実績もございます。これは、駅前も、中ノ池川横の東側市有地も、同じように市の重要な政策のポイントになってまいりますので、当然のことながら0mを、両方とも目指すべきという状況の中でご紹介をさせていただいたということで、ご了解いただきたいと思います。

あと評価委員会で、場所とセットでというふうに仰っておられます。もちろんでございます。建物は地面の上に立つものでございますから、セットで吟味をいただいているというふうに考えております。この場所につきましては、この基本計画をこの場所で検討してよいよということで、市議会の先生方の過半数以上を得てですね、市議会がこの計画を策定する予算をお認めいただいた。その予算を活用して今回の基本計画を作った。その計画を審議会たる評価委員会に先日ご覧いただいたわけでございます。先生方の中にもそういったご認識で大丈夫な場所であるということでご覧をいただいているものと思いますし、当然ご説明をさせていただく中でですね、本来基本計画のページには普通割かないような、地盤の安定性でありますとか、高圧線の問題をわざわざ今回の基本計画では、2ページに載せてございます。その上で、その資料について、評価委員会で評価いただいたということは、〇さん仰る場所と共に内容をご評価いただいたというように認識しておるところでございます。

以上でございます。

【布施政策監】

もう一点、現状の野洲病院の耐震でございますけれども、耐震調査を、今、実施をしてございます。近日中にはその結果が出てまいるというような状況でございますが。先ほど我々の方からご説明申し上げましたように、新病院が開設するまでに若干の時間がございますので、新病院を開設するまでの間、持ちこたえられるような営繕というのにつきましては対応してまいりたいというふうに考えておる次第でございます。

以上でございます。

それでは、その他の方いらっしゃいましたらお願いをしたいと思います。ただいまの時刻が3時4分でございます。ご質問いただきたい方、今の段階でちょっと挙手をいただきたいと思います。

4名の方ということで、順次お願いをしたいと思います。

それでは後ろの方から順番にお願いいたします。

【市民P】

行畑のPです。

この野洲病院、新しく建て替えるということになってから、長い年月が経ちました。なんでこんななかかってるんやと、ほとんどの市民が思ってます。いつになったら建つんやと。

これ偏に、議会が悪いと。議会の責任やと思ってます。じゃあ、その議会を運営しているのは市長であり、市会議員の皆様方です。じゃあ、それ選んだの誰やとなると、我々、一般の市民です。これだけ長い時間かかってごちゃごちゃしているのは、市民の責任であると、私は思ってます。

ですから、もうここまで来たから、何とか、今の場所で、早いことやってほしい。私も守山の方に親戚もちょっとした知人もいますけども、何人かからは、野洲の病院はどないなっとなねんと。こういうことを聞きます。こっち、返す言葉ありません。

そういうことでね。今反対されてる側（の意見を）聞きますと、電磁波がどうたらこうたら。これ文明社会の中で生きてると、その程度の電磁波は仕方がないということを聞きましたし。地盤が軟弱じゃないかというようなことを言われましたけどそれも、それも専門家がちゃんと測ってると。こういうことですのでね。

もうちょっと、反対されてる方。これ、反対されてる方も賛成されてる方も、何のためにいろんな議論されてる。野洲市をよくするためであると、私は思ってます。それであれば、もう少し妥協点を見つけて。また、弊害がある部分は、みんなで協力して取り除いていくと。そういうことでね、何とか協力していただきたいとお互い、皆さん、野洲市をよくしようと思ってるんですわ。野洲みたいどうでもいいやと思ってる人、1人もおりません。

そういうことを考えたら、ある程度、妥協点は見つかると思います。そういうことで私は、みんなが、市民も一丸になって、一刻も早く、病院建設にこぎつけられるように頑張りたいと思います。

栢木市長、よろしく願いいたします。

【布施政策監】

はい、ご意見として承りたいと思います。あと3名の方でございます。

【市民Q】

今の件に対してはね。最初の（前山仲）市長が悪いんですわ。ね、これはねなぜか言うたら、これ公の仕事ですわ、野洲市民の、市の仕事ですやろ、公ですやん。皆さんの税金がかかってますやん、払うねや。それを、前回の（前山仲）市長がね、勝手に1人で決めて、場所を1人決めて、反対してはる議員さんもあったか知らん。ね。なぜ最初に3つぐらいの案を出して、市民の皆さんに、こういう案ですがどうですかちゅう選挙の一つをして。したら、こんな、簡単にいきますやん。こんなもん、5年ほどでもう建ってるはずですよ。これをもう、市民の話を聞かんと、一番最初ですよ、勝手に場所を決めて、勝手にやってる。これ、どこの県でも絶対進んでへんですよ、テレビで見てもそうやろ、いつまでたっても前に進まれへん。こんなことはね、いつまでやってる。栢木市長はね、そりゃ大変やと思いますよ。もう1日でも早く進めたい気持ちは、よう私らでもわかってます。

ほいで言うたら、国会で言うたらねじれ国会みたいなもんですわ、ほんまに。仕様が変わってもまたねじれ、市長が変わってもね。こんなことやってたら、ほんまに今の話じゃない、守山やら草津、栗東、いつまでこんなこと関わってるって言うてられますわ。

ほんでね、栢木さんが悪い、市長が悪いって言わはるけど。一番最初、最初の出足が悪いんですわ。ほんで今、建築のことで地盤がどつたら言わ張るけど。私も建築の方で、木造建築の方やけど40年関わってきた。これはもう、建築屋に任したら、ここは悪いここが悪い、ホンマに河の

中でも建てれます、建築屋に任したら。そんな心配はないですよ。ね、深さも測って、杭を打ちよる、地盤が柔らかかったら。絶対大丈夫です。

それでね、こういうこともあるけど、1日も早くやってほしいと思います。

お願いします。

【布施政策監】

はい、あとお二方でございます。

【市民R】

野洲市の須原に住んでおりますRと申します。

私も去る14日に開会されました評価委員会の傍聴に寄せていただきました。それで、評価委員会に、今日出されたよりももう少し詳しい資料を提案して、各専門家の委員の方に意見をお聞きになりました。

当初、電磁波についてご意見が出ましたんですけれども。執行部の方から、WHOが支持する機関から出された数値を、野洲市の今の建てようとしている場所では大きく下回って、電磁波については問題がないということを言われました。

それから、他のこの評価委員の皆さんは、建築の専門家の方と医療関係の専門家の方の出席、それから一般の自治会長の連合会の会長さんとか、あるいは介護家庭の代表の方とか、そういう方も出席されての評価委員会でした。この中で最終的に、今特にこの体育館東側の土地に建てることについて、委員会の結論は、懸念すべき問題点はないという、こういう表現で締めくくりをされました。今日は、市民それぞれの立場で出席されて意見を言われておりますけれども、あの評価委員会という、各医療関係、建築関係、それから市民の代表という皆さんが総合的に意見を議論されました。その結論が、この体育館の東側に建てることについて、懸念すべき問題はないということで結論を締めくくられました。

翌日の京都新聞に、そのことが書かれておまして。委員は執行部案について好意的に受け止めつつ、近くに鉄塔があることに不安を感じる人もいる、意匠の力で払拭できないかという建築専門家の先生の提案があったこと。それから市民代表、あの介護家庭の代表の方からは、とにかく市民というのは、道筋を早くつけて一刻も早く整備してほしいというのが市民の多くの声です、ということも発言されています。

こういう専門的な、今日は市民の意見を聞いたけれども、専門的な評価委員会では、こうしてあんまり問題はないよと、それから市民の皆さんは一刻も早く建ててほしいという声が多いという。これが評価委員会に出された意見ですので、これに基づいて、執行部としては、今後は議会の議決という手続きを踏みながら、市民が願っており早期実現のためにぜひとも頑張ってくださいと思いますので、よろしく願い申し上げます。

【布施政策監】

ありがとうございます。ご意見として承りたいと思います。最後にお一方。

【市民M】

すいません、野洲市の堤のMって言います。

昨日も行政懇談会の方でいろいろと質問させていただいたんですけど。今もいろいろ話を聞かせていただいて、皆さんの多くが、もう病院は早いこと造ろうと。この辺の考え方は一致していると思います。これはもう10年前から、駅前のAブロックで病院造るときから、そういう話はあったと思います。

今もあったように、Aブロックで勝手に決めたというご意見もありましたけど、確かにあのときもいろいろ議論をされてAブロックという形で決まってきたと思うんです。ただね、Aブロックにしたときの説明が、Aブロック、駅前でないと病院に来てくる人が困るんですよ、病院の黒字にならないんですよと、こういう説明があった。だからAブロックやっていう話。で、あのときも、いやいや、この頃の病院は車で行ける人が多いですよ、済生会病院でもずっと駐車場広いのと、だから郊外でも十分じゃないですかという話も出たと思うんです。それでもいろいろ議論して、Aブロックになった。まあ、今言われるように、勝手に、前の（山仲）市長が決めたという意見もあるんですが。まあ決まってきたと。

で、その中で決まってきた、やはり非常に高額の病院やと。もっと駅前を活性化で、いろんな形で利益を生む形でというご意見もあったと思いますんで。そういうなんのを受けて、今の栢木市長が既存の病院をそこで建て替えるという、こういう形で当選されて。それはええわなど、安くなって病院やし新しくなっていけるんやったらいいという形で当選されて、今、ここに居てくれはると。

ただね、その後、やはり既設の病院を建て替えるゆうのが駄目になったときに、今のBブロック、それと今の体育館横、そういう中主のふれあいセンター、そこと三つを検討されたんですよ。どこがいいかねって。そのときに、最終的にBブロックになったんですね、Bブロックで行きますと。そのときに、体育館横はなんであかんか言うたら、今の軟弱地盤ですよと。これと高圧線が通ってるんです。こんな説明をしてきてるさかいやんか、市が。だからみんなから心配されるねん。その時しっかりと調査をして、そこでも行けるというやつを決めたらよかってん。それを何にもなしにな、Bブロックで、Bブロックにするがために、電磁波ですよとか、高圧線があつて駄目なんですよと、どけんのに1億円掛かるんですよと。こんな説明を散々してきてね、今になってそんな話は言うとか、それはないと思うわ。みんな心配しなならん。

病院ができるんやったら、しっかりしたところで。もっと考えるんやったら、極端な話、今、高専高校をしようという、あつこでもよかったんかなと、今思うは、僕らでも。今こんな形でゴタゴタするんやったら。一日でも早く病院がしてほしい。本来なら、やっぱり市民全部が何とかそこでやっていこうという形でないと、病院というのは無理やと。

一番最初にね、これ23年、平成23年かなんかに、読んでくれたかいな、この野洲市の地域医療に中核と病院のあり方検討いうて、平成23年10月に提言書が出た。確かに、ここに書いてあるのが、市民病院というのは非常に全国的に経営が難しいんだと、これはやっぱり地域の医療も連携した中で、市民全部が協力支援とこれは成り立たせませんよという書き方が、最終まとめていったんねん。それやのに、こんなゴタゴタした病院を、もっとしっかりと事務局が説明をしてよ。さっきの杭の話だけど、これがいんねや、ここやったら絶対大丈夫やというような説明をしゃんと、これは無理やて。もっともっとしっかりと説明しやなあかん。さっきの医療の医師会の方もしっかりと説明して、協力してもらえるようにして下さいよ。それでないと、先生、来いひんは。何の病院を建てたいねん。建物だけになるんや。もうちょっとしっかりと動いてくださいと、市役所で。お願いします。

【駒井次長】

ありがとうございます。

まず、三つのポイント、昨年Bブロックを選ぶ前に三つのポイントを挙げたでしょうと。その中に、ここに入ったときにこの場所は軟弱地盤だとかいうことで1回蹴ったじゃないの、ということをやった。んで、それを覆さないと駄目ですよ、というお話だと思うんですけども。

概ねその通りだと思うんですが、ちょっと若干、正確に申し上げますと、今回も体育館の裏の駐車場のところでは、Bブロックを選んだときと、ほぼほぼ近しくですね、裏側の駐車場ではやはり難しいというふうに考えてます。なぜかという、あそこやっぱり地盤が1m低いですね、今回計画しているところより。ご承知の通り、開発で土盛りせなあきませんので、そうすると開発行為になって大変な手続きとか、あと工事もあるということになってくる。その点でまず、地盤が低い。田と同じG Lなので、非常に（水が）つきやすいということで、リスクも高い。まず、これがある。

あと接道の問題ですわ、道、前の道が。今回の体育館横市有地27,250㎡のところは、前に市三宅小南線が走ってます。大きな接道があります。それから下水のパイプが、上下水も太いのがかなり走ってます。そういったところから、去年度、Bブロックなのかふれあいセンターの跡地なのか、あるいは体育館裏の駐車場なのかと、そこで検討したときに課題とされた大きなこと、地盤が低いということと接道がないということ、あと水道下水の配管が細いということ、これについては今の体育館横私有地に持ってきたことによって、（土地の高さが）上に上がったことによって、クリアできたんですね。ですから、ここでいけると。

で、電磁波、送電線の件については、確かに昨年の検討のときも懸念される事項として挙げてたと思います。そこに、体育館裏の駐車場のときも、懸念される事項と挙げてたと思うんですけども。今回、体育館横の市有地を選定した段階で、申し上げたように土地の高さは高くなった、道も太くなった、上下水も大丈夫になった。後、クリアできてないのが送電線の問題だね、ということで。それでいろいろ検証して計算させて測って実態を確かめたら、計算では5.4マイクロテスラ、実測では0.6マイクロテスラ、基準値の333分の1だということで、一つの心配に過ぎなかったんだ

なということがわかった。ので、すいません、遅まきながら今年になって一生懸命説明させてもうてるといふことで、ご了解いただきたいと思ひます。

【市民M】

ありがとうございます。もうちょっとだけ。

すいません、今の話でね、よう判んねやわ。だからね、今まで市が情報を出すのに、もう少しうまくやってくれたら、こんなことにはならへんかったと思ひねん。Bブロックにするがために造ったみたいで。今回のね、ちょっと今日の説明でもあったように、身の丈にあったいふことで、病床数も160なんぼとBブロックでは減っていったやつが、今199床にまた増やしてると。この辺やらはもう、毎回説明する資料が変わっていったんねん。これがあかんやんねやんか。ここをしっかりと、数字を通してくれへんさかいに、言うてること全部が信用でけへんねん。だからこんな話になんねん。

【駒井次長】

厳しいご指摘だと思ひます。

まず身の丈にあったといふところなんですけどね。今回、去年の165床から199床に、元に戻しました、現の野洲病院の病床数に戻しました。34床も増えるやんといふことで、また規模は大きなのとちゃうかといふように、一般的に思われると思ひますね。

実は私、今年の4月に着任して、165床のBブロックの計画を見ましてね。面積、床面積なんぼなんやといふふうに紐解いたらですね、実は165床であるにもかかわらず、14,300㎡だったんですよ、総床面積が。14,300㎡やったら199床でも入るんです。だから、コスト変わらないんです。

にもかかわらず、病床数を下げた理由は、ちょっと私の中では整理できなかったのだから、経営を考へて療養病床を持つことによつて、いわゆる安定した病床です。看護師のコストもそんなにかからない病床なので、安定した病床なので、その病床を50床抱えることによつて、市民の方に所謂ルール外繰り出しで迷惑がかからないようにね、税金で負担をかけないような病院経営がこれなら可能だろうといふことで199床に戻したといふこと。今ちょっとご指摘いただいたことにお借りして、ご説明をさせていただきました。

【市民M】

今のね、その説明やったら、僕は理解できひんわ。今ね、言うように、前が160なんぼや言うんで、この1,400㎡かなんか取ってんねやと、ほんでええやんか。その代わり、それがほたら、過大やったといふことを言うてんねんで、あんたは。病院、前は、1,400㎡で160床くらいで大きすぎるんですよ、こんな言い方してんねやんか。

そんな言い方じゃない。病院の経営で、今、今後高齢者が増えていくなんやらの関係で、今の維持期のやつはこつう病床が必要やさかいとか、こつう説明をしやんと。

【駒井次長】

また後ほど、帰りがけにお話させていただきたいと思います。

【布施政策監】

はい、ありがとうございます。予定いたしておりました定刻を大分過ぎてしまいました。不慣れな司会進行で大変ご迷惑かけました。申し訳ございません。

以上をもちまして、意見の方を終了とさせていただきたいと思います。

ありがとうございます。閉会とさせていただきたいと思います。閉会にあたりまして、副市長の方からご挨拶を申し上げます。

【副市長】

閉会にあたり、一言申し上げたいと思います。

本日も様々なご意見をいただき、ありがとうございます。今後、来週以降ですね、市議会での議論も始まってまいります。先ほど、どなたかから、みんな一丸となって進めていくべきというお声をいただきました。しっかりと進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

本日はありがとうございました。

【布施政策監】

ありがとうございました。

以上でございます。